

令和6年度

多可町の教育の点検及び評価

報 告 書

令和7年9月

多可町教育委員会

目 次

1. はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. 教育委員会の活動及び運営状況	・ ・ ・ ・ ・ 1
(1) 教育委員会（教育長及び教育委員）	・ ・ ・ ・ ・ 1
(2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等	・ ・ ・ ・ ・ 1
(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況	・ ・ ・ ・ ・ 4
① 研修等	・ ・ ・ ・ ・ 4
② 教育委員会関連事業	・ ・ ・ ・ ・ 4
ア) 入学式・卒業式	・ ・ ・ ・ ・ 4
イ) 運動会・体育祭	・ ・ ・ ・ ・ 4
ウ) 学校園訪問等	・ ・ ・ ・ ・ 4
3. 教育委員会の点検・評価	・ ・ ・ ・ ・ 5
(1) 点検・評価方法	・ ・ ・ ・ ・ 5
① 点検・評価の対象	・ ・ ・ ・ ・ 5
② 点検・評価の方法	・ ・ ・ ・ ・ 5
③ 評価委員	・ ・ ・ ・ ・ 5
④ 点検・評価の構成	・ ・ ・ ・ ・ 5
ア) 項 目	・ ・ ・ ・ ・ 5
イ) 事業名	・ ・ ・ ・ ・ 5
ウ) 事業を構成する業務・自己評価・今後の方向	・ ・ ・ ・ ・ 5
エ) 評 価	・ ・ ・ ・ ・ 5
⑤ 公 表	・ ・ ・ ・ ・ 5
(2) 総括評価票	・ ・ ・ ・ ・ 6
① 教育総務課（図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター）	・ ・ ・ ・ ・ 7
② 学校教育課	・ ・ ・ ・ ・ 8
③ こども未来課	・ ・ ・ ・ ・ 9
④ 生涯学習課（隣保館）	・ ・ ・ ・ ・ 10

(3) 教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）	・・・・・・・・11
【 教育総務課（ 図書館 ・ 那珂ふれあい館 ・ 学校給食センター ） 】	・・・・・・・・11
Ⅰ － 1 学校施設整備事業	・・・・・・・・12
Ⅰ － 2 就学援助事業、支援金給付事業	・・・・・・・・13
Ⅰ － 3 図書館運営事業	・・・・・・・・14
Ⅰ － 4 那珂ふれあい館運営事業	・・・・・・・・15
Ⅰ － 5 文化財保護事業	・・・・・・・・16
Ⅰ － 6 学校給食運営事業	・・・・・・・・17
【 学校教育課 】	・・・・・・・・18
Ⅱ － 1 教職員研修事業	・・・・・・・・19
Ⅱ － 2 特別支援教育推進事業	・・・・・・・・20
Ⅱ － 3 体験教育事業	・・・・・・・・21
Ⅱ － 4 生徒指導充実事業	・・・・・・・・22
Ⅱ － 5 青少年健全育成事業	・・・・・・・・23
Ⅱ － 6 学力向上事業	・・・・・・・・24
Ⅱ － 7 体力向上事業	・・・・・・・・25
【 こども未来課 】	・・・・・・・・26
Ⅲ － 1 児童館、子育てふれあいセンター事業	・・・・・・・・27
Ⅲ － 2 こども園等運営助成事業	・・・・・・・・28
Ⅲ － 3 学童保育事業	・・・・・・・・29
Ⅲ － 4 要保護児童対策事業	・・・・・・・・30
Ⅲ － 5 子ども・子育て支援事業	・・・・・・・・31
Ⅲ － 6 社会教育推進事業	・・・・・・・・32
Ⅲ － 7 幼児教育・保育事業	・・・・・・・・33
【 生涯学習課 】	・・・・・・・・34
Ⅳ － 1 生涯学習事業	・・・・・・・・35
Ⅳ － 2 人権教育推進事業	・・・・・・・・36

1. はじめに

教育委員会が所管する事務の管理及び執行の状況については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)」第26条の規定に基づき点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成することが定められています。また、その報告書は、議会に提出するとともに、広く公表することとなっています。

令和6年度多可町の教育の点検及び評価では、教育振興基本計画「第2次多可町教育ビジョン」に定める指標等も関連付けたうえで、客観的・専門的な視点を取り入れるべく外部有識者による意見聴取会を実施し、報告書にまとめました。

多可町の教育行政が充実し、基本理念である「明日の多可町を担うところ豊かな人づくり」の実現につながるよう、事業の成果を検証・精査し、次年度の施策につなげてまいります。

2. 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会（教育長及び教育委員）

(令和7年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期	備 考
教 育 長	越川 昌信	令和 6年1月1日～令和 8年12月31日	
委 員	安藤 和志	令和 5年1月1日～令和 8年12月31日	教育長職務代理者
委 員	木俣美代子	令和 6年1月1日～令和 9年12月31日	
委 員	名生 陽彦	令和 4年1月1日～令和 7年12月31日	
委 員	近藤 有香	令和 7年1月1日～令和10年12月31日	

(2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等

開 催 日	区 分	付 議 案 件 等
令和6年 4月25日	定 例	承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年3月分) 協議事項 各審議会・委員会・協議会等の委員の選出について 多可町一時預かり利用者負担軽減事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について
令和6年 5月24日	定 例	議案 多可町図書館協議会委員の委嘱について 議案 多可町文化財保護審議会委員の委嘱について 議案 「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱について 議案 多可町社会教育委員の委嘱について 議案 多可町教育委員会公式Instagram運用要綱の制定について 議案 多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開支援組織設置要綱の制定について 議案 多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展推進計画の策定について 承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年4月分)
令和6年 6月26日	定 例	承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年5月分) 協議事項 多可町子ども・子育て会議委員の委嘱について 多可町認定こども園等実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について

開 催 日	区 分	付 議 案 件 等
令和6年 6月26日	総合	協議事項 「こどもまんなか社会」の実現に向けて
令和6年 7月25日	定 例	議案 令和7年度使用教科用図書の採択について 承認事項 多可町いじめ防止対策検証委員会委員の委嘱について 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年6月分)
令和6年 8月19日	定 例	議案 令和5年度多可町の教育の点検及び評価の報告について 承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年7月分) 協議事項 令和5年度主要な施策の実績等について 9月議会定例会に上程する議案について
令和6年 9月26日	定 例	承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年8月分) 承認事項 多可町立学校教職員人事異動について 協議事項 秋季学校園訪問の実施について 多可町中学生のスポーツ・文化活動の地域展開ガイドライン(案)について 保育を必要とする事由(育児休業)の取扱いについて
令和6年 10月23日	定 例	議案 多可町図書館「読書通帳」有料広告掲載取扱要領の制定について 承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年9月分) 協議事項 多可町「あったか あいさつ運動」表彰要綱の一部を改正する告示の制定について
令和6年 11月27日	定 例	議案 多可町教育振興基本計画検討委員会傍聴要領の制定について 承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年10月分) 承認事項 令和7年度多可町教職員人事異動方針について 協議事項 令和6年度教育に関する予算について
令和6年 11月27日	総 合	協議事項 多可町中学生のスポーツ・文化活動の地域展開について
令和6年 12月19日	定 例	承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年11月分)
令和7年 1月22日	定 例	議案 多可町図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案 多可町中学生のスポーツ・文化活動の地域展開のガイドラインについて 承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和6年12月分) 協議事項 令和6年度多可町教育方針及び主要施策に基づく取組状況の検証について 多可町特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 多可町図書館条例の一部を改正する条例の制定について

開 催 日	区 分	付 議 案 件 等
令和7年 2月27日	定 例	議案 令和7年度多可町教育方針について 議案 多可町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について 議案 多可町教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について 承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和7年1月分) 協議事項 令和7年度教育に関する予算について 令和6年度教育に関する予算について(3月補正)
令和7年 3月27日	定 例	議案 教育委員会事務局職員、教育機関の職員の人事異動について 議案 多可町立学校教職員人事異動について 議案 多可町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 議案 多可町中学生のスポーツ・文化活動の地域展開モデル事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について 議案 多可町英語検定受験料補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について 議案 多可町招致外国青年就業規則の一部を改正する規則の制定について 議案 多可町いじめ防止対策検証委員会委員の委嘱について 承認事項 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和7年2月分)

(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況

①研修等

名 称	実 施 日	開 催 場 所
兵庫県市町村教育委員会連合会 定期総会及び研修会	令和6年 5月16日	イーグレひめじ
全国市町村教育委員会研究協議会	令和6年 6月27日	多可町役場 (オンライン開催)
播磨東地区教育委員会連合会 総会及び研修会	令和6年 7月24日	明石市立勤労福祉会館
全県夏季教育委員会研修会	令和6年 8月22日・23日	ホテル北野プラザ六甲荘
近畿市町村教育委員会研修大会	令和6年11月13日	多可町役場 (オンライン開催)
播磨東教育長会・播磨東地区教育 委員会連合会合同研修会	令和6年11月21日	明石市役所北庁舎
全国市町村教育委員会研究協議会	令和7年 1月16日	多可町役場 (オンライン開催)

②教育委員会関連事業

ア)入学式・卒業式

	小学校	中学校
入学式	令和6年 4月 9日	令和6年 4月 9日
卒業式	令和7年 3月21日	令和7年 3月14日

イ)運動会・体育祭

	小学校	中学校
運動会・体育祭	令和6年 9月28日	令和6年10月 5日
	令和6年10月20日	令和6年11月 3日
	令和6年10月26日	

ウ)学校園訪問等

小学校5校、中学校3校、認定こども園等7園への学校園訪問
各学校で実施している上記以外の行事等に参加

3. 教育委員会の点検・評価

(1) 点検・評価方法

①点検・評価の対象

令和6年度多可町の教育委員会事務事業とします。

※一部、町長の権限に属する事務で教育委員会職員が補助執行している事業を含んでいます。

②点検・評価の方法

各課の事務事業を「点検・評価シート」により4段階評価で自己点検を行いました。また、管理及び執行の状況について客観性をもたせるため、教育に関して学識経験を有する外部評価委員に評価と講評をいただき、「令和6年度多可町の教育の点検及び評価報告書」を作成しました。

〔評価基準〕

A	目標を上回っている
B	目標は達成されている
C	目標の達成がやや不十分である
D	目標の達成が不十分である

※「－」…目標を設定していない。自己評価の対象としない。

③評価委員

當 山 清 実 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授

吉 田 和 志 元兵庫教育大学大学院学校教育研究科 特任教授、元県立高等学校 校長

④点検・評価の構成

ア) 項 目

教育委員会主要な事業の22項目(補助執行事業含む)を点検しました。

イ) 事業名

主な施策、事業名を掲げています。町独自事業は網掛け表記をしています。

ウ) 事業を構成する業務・自己評価・今後の方向

点検・評価シートに記載しています。

エ) 評 価

外部評価委員による総合評価及び講評をいただきました。

⑤公 表

多可町ホームページへ掲載し、町民の皆様に公表します。

(2) 総括評価票

- ① 教育総務課
(図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター)
- ② 学校教育課
- ③ こども未来課
- ④ 生涯学習課
(隣保館)

(2)総括評価票

①教育総務課(図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター)

所 管	教育総務課(図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター) 総括評価票		
組織目標	・統合中学校開校準備委員会の運営 ・多可町の教育の点検及び評価の実施 ・教育委員会運営事業の充実 ・学校施設整備計画(10年)の見直し ・就学援助、ハートフル学業等支援事業の充実 ・学校施設の環境改善 ・図書館の充実 ・安全安心な学校給食の提供と食育・地産地消の推進 ・文化財の保存・活用と那珂ふれあい館の運営		
緊急課題	・統合中学校建設に向けた対応 ・学校施設整備計画(10年)の見直し ・生涯学習まちづくりプラザ建設に向けた対応(多可町図書館) ・物価高騰対応(学校給食等) ・文化財保存活用地域計画策定		
評価事業名		講 評	評 価
I - 1	学校施設整備事業	・引き続き、必要に応じた迅速かつ適切な対応に努めてもらいたい。	B
I - 2	就学援助事業、学業支援金給付事業	・多可町独自の支援制度の有効活用に、引き続き努めていただきたい。	-
I - 3	図書館運営事業	・2ヶ月の閉館にも関わらず、年間を通して活発な団体貸し出しやイベント運営を行ってきたこと、またその取組が表彰されたことは評価できる。 ・近隣施設との連携事業を進めていただきたい。	A
I - 4	那珂ふれあい館運営事業	・年間の来館者数が13,000人近くあり、小規模ながら集客実績は顕著である。今後も多彩な企画とイベントを期待したい。たかテレビとの共同制作なども検討願いたい。	A
I - 5	文化財保護事業	・文化財調査の結果を地域住民に還元するため、出前講座を積極的に実施していることは評価できる。 ・これを機に、文化財保存活動の重要性を町民の間で共有するため、たかテレビと共同で番組を制作するなどしていただきたい。	A
I - 6	学校給食運営事業	・アレルギー対応、給食費徴収の100%については、高く評価する。 ・地産地消の推進、保護者負担の抑制、質と量の確保のバランスに、引き続き努めてもらいたい。	A

②学校教育課

所 管	学校教育課 総括評価票		
組織目標	・いのちと人権を守る教育の充実 ・不登校対策の充実 ・確かな学力の育成 ・体力の向上と健康教育 ・中学生のスポーツ・文化活動の地域展開 ・統合中学校の開校に向けた取組の推進 ・特別支援教育の充実 ・特色ある学校づくり(ふるさと教育) ・学校の業務改善、教職員の勤務時間適正化 ・教職員の資質向上		
緊急課題	・不登校対策の充実…多可町不登校対策アクションプランに基づく不登校対策推進体制の充実を図る。 ・部活動地域展開に向けた協議…保護者や地域団体等による検討組織をもとに子どもの意見を聞きながら、地域クラブ「スポ・カルたか」の設立に向けた協議を開始する。 ・統合中学校開校に向けた協議…統合中学校開校準備委員会、教育・事務部会を開き、教育課程等の協議を進める。		
評価事業名		講 評	評 価
Ⅱ－１ 教職員研修事業		・教職員研修の実施回数が多く、参加率、満足度も高く、充実している。今後とも研修を継続してほしい。 ・女性管理職の登用が少しずつ実っている。引き続き、育成に取り組んでほしい。 ・研修の参加率、ニーズへの対応率は良好である。引き続き、諸課題に対応する研修の充実に努めていただきたい。	A
Ⅱ－２ 特別支援教育推進事業		・特別支援教育に関する重要性和ニーズは高く、対応領域也多岐にわたるため、今後も子どもたちの実態に即した研修を行い、教職員の力量形成に努めていただきたい。	B
Ⅱ－３ 体験教育事業		・中学生が地域から学び、愛着を持つ良い機会となるトライやる・ウィーク、あるいは小学生も含めたキャリア教育の実施というのは当町にとっても重要な取組である。 ・キャリア教育の充実に向けて、引き続き各事業所や商工会等との連携を図りながら充実に努めていただきたい。	A
Ⅱ－４ 生徒指導充実事業		・いじめや不登校の出現の数値にとらわれることなく、早期発見、早期対応に努め、適切な支援につなげることに留意してもらいたい。 ・中学生の自己肯定感が大きく伸びていることは大きく評価できる。今後も続くように努めてほしい。	A
Ⅱ－５ 青少年健全育成事業		・地道な活動ながらも、引き続き様々な取組の充実に努めていただきたい。 ・SNSのトラブルはいじめや不登校につながる可能性が高く、PTA、学校と連携して具体策を立てて、トラブル防止に取り組んでほしい。 ・引き続き、情報モラルや情報セキュリティを盛り込んだ活動を展開してもらいたい。	B
Ⅱ－６ 学力向上事業		・授業がよくわかると感じている児童生徒の割合が大きく伸びたのは良い傾向であるが、全国学力・学習状況調査の結果は少々残念である。授業改善の取組を今後も続けていただきたい。 ・授業がよくわかると感じている児童生徒は多いものの、具体的な成果となって表れていない。課題を分析し、取組に活かしていただきたい。	B
Ⅱ－７ 体力向上事業		・体力づくりは非認知能力の育成にも関わることなので、体力向上推進委員会の充実と、その成果に基づく現場での実践につなげていただきたい。 ・特に中学生の体力向上について、何らかの方策を検討していただきたい。 ・朝食を毎日食べる児童生徒の割合が高まっている点は評価したい。引き続き、食育指導に取り組んでほしい。	C

③こども未来課

所 管	こども未来課 総括評価票		
組織目標	・こども家庭センター設置に向けた組織再編と事務見直しの検討 ・(仮称)多可町こども条例の制定 ・要保護児童対策の推進、発達支援の強化 ・第3期多可町子ども・子育て支援事業計画の策定 ・学童保育事業実施体制の充実 ・持続可能な地域に学ぶ体験学習支援事業の検討 ・幼児教育の質の向上及び充実 ・子育て支援事業の充実と情報発信の強化 ・社会教育事業の推進 ・あったかあいさつ運動の推進		
緊急課題	・こども家庭センター設置に向けた組織再編と事務見直しの検討 ・地域に学ぶ体験学習支援事業 ・幼児教育の質の向上及び充実 ・学童保育事業実施体制の充実検討		
評価事業名		講 評	評 価
Ⅲ－１	児童館、子育てふれあいセンター事業	・子育てふれあいセンターの大幅なリニューアルに伴い、運営面の見直しを図ることで、より一層の活用を期待する。	A
Ⅲ－２	こども園等運営助成事業	・入園希望の児童に対して100%の入園を実現していることは、大いに評価できる。 ・認定こども園保育フェアについては、日時、会場等、運営の工夫・改善を検討していただきたい。	A
Ⅲ－３	学童保育事業	・利用希望者に対する100%の受入率は評価できる。 ・多様な児童が在籍しているので、重点課題やその解決に向けた具体的改善策の明確化に努めてもらいたい。	A
Ⅲ－４	要保護児童対策事業	・支援が必要な家庭への訪問がきめ細かく丁寧に実施されている。 ・令和7年度から発足する多可町こどもサポートセンターに期待したい。町民への周知・PRをいろいろな形でしてもらいたい。	A
Ⅲ－５	子ども・子育て支援事業	・病児保育や在宅等育児手当の100%支給など、きめ細やかな対応がなされている点を評価したい。 ・ファミリー・サポート・センターたか運営事業では、今後も工夫しながら「まかせて会員」の質の向上に努めてもらいたい。	A
Ⅲ－６	社会教育推進事業	・「播州歌舞伎」の運営と「おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展」は、多可町独自の活発な取り組みとして高く評価する。 ・今後の展示の在り方について、検討の余地がある。また、事業の成果指標についても検討が必要である。	B
Ⅲ－７	幼児教育・保育事業	・5歳児交流会の実施内容の工夫をさらに進めてもらいたい。 ・合同研修のさらなる充実に努め、教育・保育の質の向上に繋げていただきたい。	B

④生涯学習課

所 管	生涯学習課 総括評価票		
組織目標	・自己実現を意識し地域づくりにつながる生涯学習の推進 ・生涯学習まちづくりプラザの開設準備 ・人権教育啓発の推進 ・部落差別解消の推進に関する基本計画・実施計画の進捗管理		
緊急課題	・生涯学習まちづくりプラザ開設準備 ・生涯学習事業の活性化(DX絡めて) ・人権に関する教育・啓発の推進		
評価事業名	講 評	評 価	
IV－ 1 生涯学習事業	・多可学園、生涯学習講座いずれも業務の量的拡大が見込まれる中、満足度をはじめとする質的な側面での把握にも努めていただきたい。	B	
IV－ 2 人権教育推進事業	・全集落で住民学習会を実施したことは評価できる。さらに、ベルディーホールなどで行われる人権学習会においても、全世代の参加が期待できるようなテーマ・内容で取り組んでもらいたい。 ・地道な活動ではあるが、必要な事業として継続的に取り組んでいただきたい。	A	

※生涯学習課の事業のうち、教育委員会部局の事業を補助執行している部分について評価対象としています。

(3)教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

【 教育総務課 】

(図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター)

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	教育総務課				
事業名	学校施設整備事業	事業費 (決算額)	令和5年度		令和6年度				
			2,779 千円		6,615 千円				
根拠法令等	文部科学省学校施設整備指針、学校施設環境改善交付金交付要綱								
事業目的	施設を利用するすべての人が安全・安心、快適に利用できるよう環境整備を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 8	修学環境の整備・充実						
		Ⅱ - 9	少子化に対応した新しい教育体制の調査・研究						
	基本施策								
	具体的 施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標・予定値 実績値		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	小学校施設整備	杉小春蘭の家茅葺き屋根葺き替え工事	工事発注件数 (件)	—	—	1	B	2	—
2	小中学校一般管理事業	通学路の蓋設置、牛乳用冷蔵庫、漏水、雨漏り、エアコン等修繕	緊急対応件数 (件)	—	—	8	B	2	—
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・緊急対応修繕費の予算を新設し、効率よく・迅速に修理できるようにしたため、中町中学校の漏水や牛乳用冷蔵庫の故障、中南小学校のエアコンの故障への対応や、通学路の危険な場所の改善ができた。							
次年度の重点課題と具体的改善策		・教育委員会では、引き続き緊急対応修繕費を予算化する。 ・計画的に予算を確保するため、各学校で定期的な点検を実施し、教育委員会の学校訪問の際に修繕要望のヒアリングを行う。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	B	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・引き続き、必要に応じた迅速かつ適切な対応に努めてもらいたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	教育総務課				
事業名	就学援助事業、学業支援金給付事業	事業費 (決算額)	令和5年度		令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
			23,131 千円		22,419 千円				
根拠法令等	特別支援学校への就学奨励に関する法律、多可町就学援助規則、要保護及び準要保護生徒援助費補助金及び特殊教育就学奨励費補助金交付要綱、多可町ハートフル学業支援金給付条例、多可町白川良一高等学校等入学支援金支給要綱								
事業目的	経済的負担を軽減し、就学の機会均等を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ-8	修学環境の整備・充実						
	基本施策								
	具体的 施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標・予定値 実績値		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	就学援助制度	申請相談・受付、認定 審査、援助費の支給	延人数(人)	171	175	173	-	2	160
			扶助金額(千円)	15,127	15,500	15,140			14,170
			就学援助率(%)	13.5	13.5	14.5			14.2
2	要保護児童生徒・特別支 援教育就学奨励費	申請相談・受付、認定審査、 奨励費の支給、国庫補助金 交付申請・請求手続き	延人数(特支+通学費)	38	40	45	-	2	40
			扶助金額(千円)	1,569	1,800	1,875			1,800
3	ハートフル学業支援金 給付制度	申請受付・認定手続 きの実施	給付人数(人)	48	40	54	-	2	57
			扶助金額(千円)	3,426	2,500	3,864			4,788
4	多可町白川良一高校入学 支援金支給制度	申請受付・認定手続 きの実施	給付人数(人)	38	20	20	-	2	21
			扶助金額(千円)	3,010	1,600	1,540			1,680
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・手続きの利便性向上が求められていたことから、「ハートフル学業支援金給付制度」では、オンライン「スマート申請」を活用し、役場窓口に来なくても手続きできるようにした。 ・基金を活用した「多可町白川良一高校入学支援金支給制度」では、中学卒業前の3年生を対象にチラシを送付し、併せて進学先高等学校にもチラシと申請書を送付して、広く周知した。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・「スマート申請」については、まずは「ハートフル学業支援金給付制度」で利便性などを検証した上で、「多可町白川良一高校入学支援金支給制度」など他の制度に広げていくことを検討する。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	—	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・多可町独自の支援制度の有効活用に、引き続き努めていただきたい。	

I-2 就学援助事業、学業支援金給付事業

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	教育総務課(図書館)				
事業名	図書館運営事業		事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度		
				34,482 千円			41,809 千円		
根拠法令等		図書館法、多可町図書館条例							
事業目的		図書等を利用者に提供することにより、生涯学習を推進し、豊かな生活を支援すること。							
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進						
	具体的 施策	Ⅲ－１	生涯学習の充実						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	図書の貸出・返却	図書の貸出・返却業務を実施	貸出冊数(冊) ※	139,404	120,000 *	113,594	B	1	120,000
2	情報提供 (レファレンス)	相談や要望に対して、適切なアドバイスを行い必要図書を提供	レファレンス (件)	1,823	1,500 *	1,528	A	2	1,800
3	新刊図書購入	社会情勢や読書傾向を把握し、図書を購入	年間購入冊数 (冊)	4,865	5,000	4,929	B	2	4,800
4	講座・イベント運営	読み聞かせ講座や本のリサイクル市等を実施して図書館をPR	開催回数(回)	30	30	31	A	2	30
5	利用者登録	利便性向上のため、図書カードを作成	新規登録者(人)	217	170 *	153	B	1	250
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		〈*工事期間があるため、令和6年度目標・予定値を下げていた〉 ・新図書館開館準備のため長期の休館が必要であったことから、読書推進のため、特集コーナーを年間約50回設置し、学校園などへの団体貸出を延べ550回近く行った。 ・ICタグ導入に向けて除籍作業を行い、利用者のニーズに応えた選書で魅力的な棚づくりを実施した。また、職員研修により、利用者の書籍の問い合わせについて、その書籍の場所までの誘導などの確かな情報を提供できた。 ・子どもたちの読書活動を活性化するための様々な活動(夏休みのビブリンピック等)を行った結果、令和7年度子どもの読書活動優秀実践図書館に選定され、文部科学大臣賞を受賞できた。							
次年度の重点課題と具体的改善策		・新規利用者獲得のため、引き続き、魅力的なイベントの企画・立案を行い、InstagramなどSNSを活用した図書館事業のPRを実施する。 ・利用者の利便性をさらに高めるため、自動貸出機や読書通帳機、スマホアプリなどICT技術を活用する。 ・図書館が多可町生涯学習プラザ「あすみる」内に移転したことから、新規利用者および来館者の増加を目指し、生涯学習団体や隣接する多可町子育てふれあいセンター「ココミル」と連携した事業を検討する。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・2ヶ月の閉館にも関わらず、年間を通して活発な団体貸し出しやイベント運営を行ってきたこと、またその取組が表彰されたことは評価できる。 ・近隣施設との連携事業を進めていただきたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	教育総務課(那珂ふれあい館)					
事業名	那珂ふれあい館運営事業			事業費 (決算額)	令和5年度 5,761 千円		令和6年度 5,173 千円			
根拠法令等	多可町ビジターセンター条例									
事業目的	施設の周知を図り、歴史や伝統文化の学習や学習成果の活用のもととすること。									
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進							
	具体的 施策	Ⅲ-1	生涯学習の充実							
		Ⅲ-3	文化の香るまちづくりの推進							
	基本施策									
	具体的 施策									
事業を構成する業務		具体的活動内容		活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標・予定値 実績値		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	多可ふれあいボラン ティアガイド養成	多可ふれあいボランティア ガイド会議・研修会開催		開催回数(回)	5	5	5	B	2	5
2	イベント運営	自主イベント開催		参加者数(人)	1,818	1800	2,342	A	2	2,000
3	那珂ふれあい館運営	町内外の団体受け入 れ	団体数	55	—	58	A	2	60	
			延べ人数(人)	922		1,110			1,100	
		歴史や伝統文化の学 習の場の提供	来館者数(人)	13,825	11,000	12,983	A	2	12,000	
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・イベント運営では、町内小学校の来館を増やすため、杉原紙を使った製作や陶芸体験などの新しい体験学習などを取り入れ、メニュー構成を工夫した。また、体験学習や出前授業の一覧を作成し、各学校へ情報を発信したことにより学校での活用が増加した。 ・館全体の来館者数は、「もえぎカフェ」や「パックオーケストラミニコンサート」など、他部局や団体との連携事業を行ったことにより、目標を達成した。								
重点課題と 次年度の 具体的改善策		・町内小学校での館の活用を促進するために、授業で使える出前講座や体験学習メニューをもっと広める。 ・来館者数の増加に向けて、企画展を充実させ、自主企画だけでなく、他団体やグループによる展示も呼びかける。								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・年間の来館者数が13,000人近くあり、小規模ながら集客実績は顕著である。今後も多彩な企画とイベントを期待したい。たかテレビとの共同制作なども検討願いたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	教育総務課(那珂ふれあい館)				
事業名	文化財保護事業		事業費 (決算額)	令和5年度		令和6年度			
				15,179 千円		16,056 千円			
根拠法令等	文化財保護法、多可町文化財保護条例								
事業目的	文化財の保護・周知・活用を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進						
	具体的 施策	Ⅲ - 3	文化の香るまちづくりの推進						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標・予定値 実績値		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	埋蔵文化財発掘調査	文化財の発掘調査の実施	発掘箇所数 (箇所)	4	3	4	A	2	3
2	文化財整理調査	報告書の刊行	刊行数(件)	2	1	1	B	2	1
3	文化財保護審議会 運営	文化財保護審議会 開催	開催回数(回)	1	1	2	A	2	1
4	文化財悉皆調査	文化財の悉皆調査の 実施	調査延べ日数 (日)	60	50	65	A	2	60
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・「多可町文化財保存活用地域計画」の策定に向けて、文化庁や専門家と協議を重ね、7年度7月に文化庁の認定を受けることができた。 ・文化財調査や整理事業では、発掘調査報告書の刊行、仏像・仏画・寺社建築・古文書の悉皆調査による情報収集、民具資料の収集などを行い、歴史文化遺産の保存と活用を進めた。 ・悉皆調査の成果を地域に還元するため、出前講座を21回開催し、延べ674人の参加があった。前年の16回、延べ294人から大幅に増加し、地域の関心が高まっていることを示している。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・地域にある歴史文化遺産の重要性をもっと知ってもらうため、悉皆調査で得られた情報などをわかりやすく地域に広める活動が続ける。 ・「多可町文化財保存活用地域計画」について、しっかりと周知し、計画に基づく具体的な事業を進めていく。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・文化財調査の結果を地域住民に還元するため、出前講座を積極的に実施していることは評価できる。 ・これを機に、文化財保存活動の重要性を町民の間に共有するため、たかテレビと共同で番組を制作するなどしていただきたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

			担当課	教育総務課(学校給食センター)					
事業名	学校給食運営事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			216,097 千円			216,218 千円			
根拠法令等	学校給食法、多可町学校給食センター条例、多可町学校給食費負担金徴収条例、多可町学校給食費負担金債権管理規則、多可町学校給食センター運営委員会要綱、多可町学校給食センター調理等業務委託業者選定委員会設置要綱								
事業目的	食材等の品質や栄養バランスを考慮した給食を提供し、児童・生徒の健康増進と食育の推進を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ-3	健やかな体の育成						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標・予定値 実績値		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	給食調理提供	小中学校及び特別支援学校へ給食を提供	給食提供数(食)	292,594	300,000	285,009	B	2	292,000
2	食育指導	小中学校での食育指導	実施率(%) ※	100	100	100	A	2	100
3	学校給食運営委員会 運営	多可町学校給食運営委員会の開催	開催回数(回)	2	2	2	B	2	2
4	地元産食材の活用	地元産食材の活用 (地産地消)	地産地消率(%)	7.2	7.0	8.8	A	2	9.0
5	学校給食における食物 アレルギー対応	食物アレルギーへの 対応	対応率(%)	100	100	100	A	2	100
			児童生徒数(人)	20	20	17			17
6	給食費負担金の徴収	小中学校の給食費 負担金の徴収業務	徴収率(%)	100	100	100	A	2	100
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・物価高騰が続く中、保護者の負担を増やさずに、学校給食の質や量をどうやって維持するかが課題であったため、栄養教諭が使用食材を創意工夫しながら給食費が上がらないように務めるとともに、給食センターと地元JAと協力して、地元の食材を多く使うようにした。 ・学校給食センターの調理などの業務委託契約が令和6年度末までであったため、業務委託業者の選定のプロポーザルを実施し、その評価項目の説明から評価し、安全で安心な給食を提供できる業者を選定した。 ・地元食材の使用が増え、地産地消率は前年より1.6ポイントアップした。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・今後も物価変動に対応しながら、保護者の負担を増やさないための新しい支援策を考える。 ・地元食材の使用をさらに増やし、地産地消を進める。給食の安全性を確保するため、業務委託業者の選定プロセスをより透明にし、適切な業者を選び続ける。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・アレルギー対応、給食費徴収の100%については、高く評価する。 ・地産地消の推進、保護者負担の抑制、質と量の確保のバランスに、引き続き努めてもらいたい。	

(3)教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

【 学校教育課 】

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	学校教育課				
事業名	教職員研修事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			1,898 千円			1,872 千円			
根拠法令等	教育公務員特例法、地方公務員法								
事業目的	多可町内全教職員が研修等により自らの資質と指導力を高めること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 6	教職員の資質と指導力の向上						
		Ⅱ - 7	学校の組織力の強化						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	教職員悉皆研修	多可町の教育課題に 対応した教職員悉皆研修の 実施	参加率(%)	100	95	100	A	2	95%
			満足度(5点満点)	4.58	4.0	4.35			4.0
			研修回数(回)	2	2	2			2
2	若手教員育成研修	若手教員を対象とした人 材育成研修の実施	満足度 (5点満点)	4.83	4.7	4.9	A	2	4.7
3	エキスパートティー チャーの派遣	学校の校内研修等に経 験豊富な教員OBの派遣	希望に対する実施率(%)	100	100	100	B	2	100%
			研修参加人数(人)	12	10	9			10
4	学校経営研修講座	学校運営を担うリーダ ー育成を目的とした講座の 開催	登録率(%)※	31.3	35.0	41	A	2	38%
			女性登録人数 ／登録人数	5/16	—	7/17			
5	教職員の指導力向上を目的 とした校内研修	教職員の指導力向上を 目的とした校内研修の推 進	各校平均(回) ※	24	26	45	A	2	26
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・悉皆研修は、1回目「多可町授業スタンダード」、2回目「心の健康教育」について行った。教員の意見交換を行う機会を設けた集合型研修により、講演課題の共有や取組の工夫改善を図ることができた。 ・若手教員育成の「ふるさと多可町研修」とエキスパートティーチャーの派遣研修では、地域教材開発や活用などについて指導力の向上を図った。派遣の実績値は減少しているが、希望する教員には100%応えている。 ・新たに女性管理職2人の登用が実現し、町内で女性管理職は3人となった。同性には安心して相談できることもあり、保護者や教職員の報告、連絡、相談が適切に行われている。 ・各学校は年間2回、多可町学力向上推進アドバイザー(大学教授)を招聘した授業改善や読解力の育成についての研究を進めている。「授業づくり10ポイント」を活用した、子どもが主体の授業づくりを推進することができた。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・全小中学校で共通した授業づくりをし、子どもが安心して学習する環境づくりを進めるために、継続的に「多可町授業スタンダード」の研修に取り組む。 ・「ユニバーサルデザインの視点から考える学級経営」の研修では、子ども理解を深め、個別支援を講じた学級経営の実践につなげる。 ・若手教職員の指導力の育成のため、エキスパートティーチャーの派遣を計画的に行い、指導のスキルアップに取り組む。 ・女性活躍の観点から女性管理職のやりがい等を伝える場を新たに企画し、女性登用を推進する。 ・多可町学力向上推進アドバイザーにより、子ども主体の授業改善を推進する。また、学力向上推進委員会を開催し、全町での学力・読解力の育成に向けた取組の充実を図る。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・教職員研修の実施回数が多く、参加率、満足度も高く、充実している。今後とも研修を継続してほしい。 ・女性管理職の登用が少しずつ実っている。引き続き、育成に取り組んでほしい。 ・研修の参加率、ニーズへの対応率は良好である。引き続き、諸課題に対応する研修の充実に努めていただきたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課		学校教育課				
事業名	特別支援教育推進事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度				
			37,416 千円			50,154 千円				
根拠法令等	文部科学省通知、学習指導要領、発達障害者支援法、学校教育法、障害者の権利に関する条約等									
事業目的	健康課、こども未来課、県立特別支援学校、専門家(臨床心理士)等と連携し、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加ができるように支援すること。									
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実							
	具体的 施策	Ⅱ - 4	特別支援教育の推進							
事業を構成する業務		具体的活動内容		活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
						目標・予定値	実績値			
1	臨床心理士巡回訪問	特別な支援を要する子どもの観察、支援体制充実に向けた助言		訪問指導回数 (回)	37	25	18	B	2	25
2	特別支援教育コーディネーター会議運営	特別支援教育コーディネーター会議(研修会)		開催回数(回)	2	2	2	B	2	2
3	県立特別支援学校の コーディネーター派遣	県立特別支援学校の コーディネーターを学 校に派遣		派遣回数／依頼回数(%)	100	100	100	B	2	100
				派遣回数(回)※	22	20	18			20
4	スクールアシスタント、生 活補助員の配置	児童生徒への学習及び 生活支援		配置人数(人)	22	22	21	B	2	22
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・臨床心理士がこども園を巡回訪問し、支援の必要な未就学幼児に対する助言を行うことで、保護者や学校園等と連携して、適切な就学支援につなげることができた。課題をかかえる児童生徒への支援に際して、学校は心理士による専門的な知見の助言を受け、組織的な支援体制を構築し、困り感に寄り添った支援を継続している。 ・特別支援教育コーディネーター会議を開催し、サポートファイル(児童生徒の発達特性や支援の内容をまとめたファイル)の理解と活用を推進した。臨床心理士や県立特別支援学校のコーディネーターによる特性の見取りを活用し、教員の児童生徒理解の充実や専門性を高めることができた。 ・スクールアシスタントや生活補助員は、臨床心理士による講義を受けたことにより、特別な支援を要する子どもへのきめ細やかな支援を実践することができた。 ・スクールアシスタント等の基本給の引き上げ改訂により、事業費が増額しているが、教員との連携のもと、きめ細やかな支援を行うことができた。								
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・一人一人の特性に応じた支援方法や合理的配慮についての理解を深めるために、教職員の悉皆研修や臨床心理士の巡回訪問を行う。 ・特別支援コーディネーターを中心に校内で情報を共有し、全ての教員が適切な支援を行う組織体制を引き続き構築する。 ・県立特別支援学校のコーディネーターの専門性を活用し、児童生徒の把握に努め、個々のニーズに応じた支援や合理的配慮による支援についての理解を深める。 ・児童生徒の特性に応じ、スクールアシスタントや生活補助員の適切な配置につなげる。教職員悉皆研修にスクールアシスタント等も参加し、連携して児童生徒支援ができるようにする。								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	B	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・特別支援教育に関する重要性和ニーズは高く、対応領域も多岐にわたるため、今後も子どもたちの実態に即した研修を行い、教職員の力量形成に努めていただきたい。	

Ⅱ-2 特別支援教育推進事業

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	学校教育課					
事業名		体験教育事業		事業費 (決算額)	令和5年度		令和6年度			
					900 千円		600 千円			
根拠法令等		地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施要綱、多可町教育大綱								
事業目的		地域、学校、家庭が連携し子どもたちに社会体験活動の機会を与え、豊かな人間性とたくましい心を培うとともに、よりよい地域づくりに向けて努力する子どもの育成をめざすこと。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ		基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
		具体的 施策	Ⅱ - 2	豊かな心の育成						
			Ⅱ - 5	体験教育の推進						
事業を構成する業務		具体的活動内容		活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
						目標・予定値	実績値			
1	トライやる・ウィーク 運営	生徒の受け入れ登録事業所数		事業所数(所)	89	90	93	A	2	90
		活動後のアンケート調査		「充実していた」と回答した割合(%)	87	90	92	A	2	90
				自分の考えや行動に影響した割合(%) ※	64	69	70	B	2	75
2	キャリア教育の推進	夢や目標をもつ児童(小6)		夢や目標をもつ児童生徒の割合(%) ※	85	86	84.5	B	2	86
		夢や目標をもつ生徒(中3)			62.3	65	62.6	B	2	72
3	ふるさとキャリア教育運営	中学1年生を対象に地域人材による学習会を実施		実施回数(回)	3	3	3	A	2	3
4	多可町ふるさと検定	小学校4年生以上の児童を対象に「ふるさと検定」を実施		小学校 4級以上の割合(%)	56	57	79	A	2	80
		中学校の生徒を対象に「ふるさと検定」を実施		中学校 5級以上の割合(%)	56	57	51	C	2	57
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・トライやる・ウィークは、合計54の事業所(町内51、町外3)において5日間で実施した。平日が定休日の事業所は、土日にも実施するなど、5日間の活動を充実させている。 ・活動後の生徒アンケートでは、「働くことの厳しさや楽しさを感じた」「またやってみたい、コミュニケーションの大切さを感じた」「充実していた」の項目が、令和6年度はコロナ以前と同等の高い数値となった。「進路や将来について考えるようになった」「責任を持つようになった」では、前年より10ポイント以上数値が上昇した。 ・ふるさとキャリア教育では、各中学校に商工会青年部から講師を招き、仕事に向き合う姿勢や生き方の話を聞いたことにより、生徒が自分自身の将来や生き方について考える機会になった。トライやる・ウィークや高校の選択など、キャリア教育につながっている。 ・多可町ふるさと検定では、ふるさと副読本の活用を図り、タブレットを活用した反復学習により、小学生の検定結果が上昇している。								
次年度の重点課題と具体的改善策		・トライやる・ウィークでは、自らの将来について考える機会となるように、引き続き、学校・家庭・事業所と連携し、多可町内を中心に新規受入の事業所の開拓を進めながら取り組んでいく。 ・生徒のプライバシー保護の観点から、事業所へ事前調査結果を通知し、画像の取り扱いについて注意を促す。 ・中学生のふるさと検定結果は5級以上の割合が51%に下がっている。多可町をテーマとしたふるさと教育では、多可町へのふるさと愛を育むため、多可町商工会との連携を深めた探究学習等を充実させる。								

※自己評価

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・中学生が地域から学び、愛着を持つ良い機会となるトライやる・ウィーク、あるいは小学生も含めたキャリア教育の実施というのは当町にとっても重要な取組である。 ・キャリア教育の充実に向けて、引き続き各事業所や商工会等との連携を図りながら充実に努めていただきたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	学校教育課				
事業名	生徒指導充実事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			10,321 千円			15,753 千円			
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学習指導要領、多可町いじめ防止等に関する条例、多可町いじめ防止基本方針、多可町いじめ防止対策改善基本計画								
事業目的	スクールアシスタント、スクールラブ、スクールカウンセラー等と連携し、児童生徒の実態に応じた指導・支援を行うとともに、多様な専門家の支援による相談体制を充実すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 2	豊かな心の育成						
		Ⅱ - 7	学校の組織力の強化						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	多可っ子悩み相談	悩み相談の対応回数	延べ対応回数 (回)	73	70	79	A	2	70
2	不登校対策	長期欠席者の割合(小学校)	出現率(%)	2.2	1.7	3.1	B	2	1.7
		長期欠席者の割合(中学校)		8.3	7	8.1	B	2	7
3	いじめ防止対策	いじめ防止対策にかか る外部評価の実施(年 間)と認知件数	外部評価(回)※	2	2	2	B	2	2
			いじめ認知件数	211	240	209			240
4	自己肯定感の育成	自分によいところがあると 思う児童(小学校)	児童生徒の割合 (%) ※	81.3	82	84.5	A	2	85
		自分によいところがあると 思う生徒(中学校)		71.4	75	83.7	A	2	80
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・悩み相談や不登校支援については、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士等の専門家や関係課、こども家庭センター等の専門機関と連携して、相談者に寄り添った対応をした。 ・長期欠席者は増加傾向にあるが、ニーズに応じた居場所づくりを進め、アセスメントシートを活用した組織的・継続的な支援に努めた結果、それぞれに安全・安心な居場所とつながってきている。 ・「多可町いじめ防止対策改善基本計画」に基づき、「多可町いじめ防止対策検証委員会」を年間2回開催した。事例研修を通じた実践力と組織対応力が向上し、初期対応を充実させることができた。 ・学校生活においては、子どもが主体となって判断・企画する児童会・生徒会活動を展開している。子ども同士の適切な関わりの中で、自己肯定感が上昇している。 ・教育支援センター(ほのぼの教室)を利用する不登校児童生徒が増加したため、職員の1名増員を行い、不登校支援を充実させることができた。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・不登校児童生徒出現率においては小学生が大きく増加している。一人一人の状況を多面的に把握するために、アセスメントシートを積極的に活用し、組織的かつ継続的な支援につなぐ。教育支援センター(ほのぼの教室)、サポートルーム(校内教育支援センター)等へ段階的につなぎ、子どもの居場所づくりに取り組む。また、保護者が孤立したり、課題を抱え込んだりしないよう関係機関との連携を図る。 ・「多可町いじめ防止対策検証委員会」を年2回開催し、専門家等による、学校の組織的な対応力の強化を検証する。 ・多可町のいじめ防止対策の原点に立ち返り、事案を風化させない地道な取組を継続していく。 ・子どもの自己肯定感を育てるために、「褒めて伸ばそう多可の子」を合い言葉に、学校と家庭が連携して子どものよいところ認める。また、教職員が子どもの友だち関係づくりを適切に評価・支援し、非認知能力の育成を図る。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・いじめや不登校の出現の数値にとらわれることなく、早期発見、早期対応に努め、適切な支援につなげることに留意してもらいたい。 ・中学生の自己肯定感が大きく伸びていることは大きく評価できる。今後も続くように努めてほしい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

			担当課	学校教育課					
事業名	青少年健全育成事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			6,395 千円			7,352 千円			
根拠法令等	多可町青少年補導委員会設置要綱								
事業目的	青少年健全育成のため関係機関と連携調整を図るとともに、園児・児童・生徒の安全確保を図り、青少年健全育成について広く周知していくこと。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	1 - 4	安心して暮らせる地域・家庭づくりへの支援						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	学校園等の安全パトロール	青色回転灯防犯パトロール車による子ども見守り	パトロール日数 (日)	214	215	217	A	2	215
2	補導委員巡回パトロール及び万引防止活動	補導パトロール及び店舗万引防止活動	パトロール回数 (回)	17	19	19	B	2	18
3	青少年健全育成大会運営	青少年健全育成大会の参加	参加人数 (人)	100	120	148	A	1	140
4	こども110番	こども110番の家の登録	登録件数 (戸)	420	420	420	B	2	420
5	9時以降、SNSやりません運動	小学校は夜9時以降	守ろうと意識している割合 (%)	83	85	81	B	2	85
		中学校は夜10時以降		63	65	69	A	2	65
6	子ども見守りサポート隊	子ども見守りサポート隊の組織化	サポート隊 (人数) ※	132	132	132	B	2	132
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・青色回転灯防犯パトロールにより、児童生徒の事故や事件の未然防止や早期対応に努めている。また、不審者情報のメール配信により、地域での見守りや出没区域の重点パトロールにつなげている。 ・青少年健全育成大会では、SNSトラブルをテーマとした研修を実施した。地域の方の関心が高く、呼びかけに応じて参加者が増加した。 ・日々のネット見守りでは、町内児童生徒のSNS利用状況を把握している。必要に応じた学校への情報提供や注意喚起を早期に行っている。 ・SNSの利用については、「9時以降(10時以降)、SNSやりません運動」を生徒自ら実行するため、標語の作成と広報を行った。情報モラル等の学習と合わせて、児童生徒の適切なSNS活用についての学習を発達段階に応じて行うことができた。							
次年度の重点課題と具体的改善策		・多可町全体の防犯意識の向上を目指して、多可町補導安心メール登録者数の増加と不審者等の情報の即時発信を行い、安全・安心な相互の見守り活動の充実を図る。 ・参加者を増やすため、最新の課題をテーマとした青少年健全育成大会を図る。 ・小学生のスマホ等の所持率が上がり、SNSトラブルも生じている。適切な利用については、授業で取り上げたり、講演会を開催したりして学校と家庭が連携して取り組む。 ・子ども見守りサポート隊は、毎年高齢化が進み、次の担い手がいない現状である。各学校と地域が連携したコミュニティ・スクールとして、児童数が減少する中でも児童1人で帰ることがないように見守り活動を維持・継続する。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	B	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・地道な活動ながらも、引き続き様々な取組の充実に努めていただきたい。 ・SNSのトラブルはいじめや不登校につながる可能性が高く、PTA、学校と連携して具体策を立てて、トラブル防止に取り組んでほしい。 ・引き続き、情報モラルや情報セキュリティを盛り込んだ活動を展開してもらいたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	学校教育課					
事業名		学力向上事業		事業費 (決算額)		令和5年度		令和6年度		
						22,784 千円		28,824 千円		
根拠法令等		学習指導要領、多可町学力向上3か年計画								
事業目的		全国的な学力調査等により教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること。 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立し、教育指導の充実に役立てること。 地域人材を活用し、放課後における補充学習を行い、学力向上に努めること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実							
	具体的 施策	Ⅱ - 1	確かな学力の育成							
事業を構成する業務		具体的活動内容		活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	全国学力・学習状況調査(小学校6年)	小学校国語問題	全国平均正答率との比較	101.1	100	98	B	2	100	
		小学校算数問題		102.4	100	92	C	2	100	
2	全国学力・学習状況調査(中学校3年)	中学校国語問題	※	97.4	100	96	B	2	100	
		中学校数学問題		101.9	100	94	C	2	100	
3	全国規模の学力テスト	小学校国語問題	全国平均正答率を上回った学年数(6学年中○学年)	5	5	5	B	2	5	
		小学校算数問題		5	5	6	A	2	5	
4	わかる授業づくり(小学校6年)	小学校国語授業	授業内容(国・算・数)がよくわかると感じている児童生徒の割合(%) ※	81.2	85	90	A	2	85	
		小学校算数授業		83.7	85	89	A	2	85	
5	わかる授業づくり(中学校3年)	中学校国語授業		68.6	78	81	A	2	78	
		中学校数学授業		79.1	76	75	B	2	76	
6	多可町がんばりタイム(放課後補充学習)の実施	小中学校における放課後の補充学習の実施	授業回数(回)	242	238	253	B	2	238	
			参加人数(人)	175	180	134			180	
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・全小中学校で学力向上プランを作成し、読解力の向上に取り組むことができた。問題文を読むスピードや内容理解力が伸び、全国規模の学力テストでは、概ね全国平均正答率を上回る結果となった。 ・年度当初に多可町学力向上推進アドバイザーによる悉皆研修を行い、「授業づくり10ポイント」の共通理解を図り、すべての小中学校で授業づくりに取り組んだ。また、校内研修に同アドバイザーを招聘し、授業研究を年2回行った。「授業がよく分かる」と回答した中学生は、国語で12ポイント以上増加している。 ・ICTの活用(タブレットドリル・スタディサプリなど)による個別化や子ども同士の対話的な学習場면을工夫したことにより、個別最適で充実した授業づくりにつなげることができた。 ・がんばりタイムの実施回数の増加と指導者の増員により、個別の学習支援を充実させ、基礎学力の定着に努めた。								
次年度の重点課題と具体的改善策		・第3期多可町学力向上3か年計画で掲げている読解力の向上については、町内の全小中学校で実践している。子どもの読解力向上を全小中学校で推進するために、読解力トレーニングの教材を町内小学校で共有したり、校内研修を他校へ公開したりする。 ・学力テストの調査結果をもとに、各校で具体的な学力向上プランを作成し、目標・実践・評価・検証、改善のサイクルをつないでいく。 ・子どもたちが、どの学校・どの教科でも、すべての授業に安心して臨める学習環境を整えるために、「授業づくり10ポイント」を活用した授業改善により、「多可町授業スタンダード」を推進し、教師の授業力の底上げを図る。 ・個別最適な学習を進めるため、授業や家庭学習において「タブレットドリル」「スタディサプリ」を積極的に活用する。								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	B	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・授業がよくわかると感じている児童生徒の割合が大きく伸びたのは良い傾向であるが、全国学力・学習状況調査の結果は少々残念である。授業改善の取組を今後も続けていただきたい。 ・授業がよくわかると感じている児童生徒は多いものの、具体的な成果となって表れていない。課題を分析し、取組に活かしていただきたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	学校教育課				
事業名	体力向上事業		事業費 (決算額)	令和5年度		令和6年度			
				17 千円		11 千円			
根拠法令等		ひょうご教育創造プラン、多可町教育大綱							
事業目的		運動好きの子どもを育てることを目指し、体力向上に向けての様々な課題解決を図ること。							
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 3	健やかな体の育成						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	多可町体力向上推進 委員会運営	新体力テスト結果分析、 課題解決に向けた取組 発表	開催数(回)	1	2	0	D	2	2
2	体力・運動能力テスト (小学校)	体力・運動能力テスト の実施(小学生)	全国平均を 上回った種目数 (8種目中○種目) ※男女平均	7	7	男4 女7	B	2	7
3	体力・運動能力テスト (中学校)	体力・運動能力テスト の実施(中学生)	全国平均を 上回った種目数 (8種目中○種目) ※	2	5	男1 女0	C	2	5
4	食育指導	朝食を毎日食べる児童(小6)	児童生徒の割合 (%) ※	83.4	84	86.2	A	2	84
		朝食を毎日食べる生徒(中3)		79.3	80	81.6	A	2	80
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・「なわとび運動(たかチャレンジ)」を全小中学校で推進している。中学生の体力は全国平均値以下が多いが、なわとび運動を積極的に実施している小学生では、全国平均を超えており、体力の向上についての成果が出ている。 ・県の「体力アップサポーター事業」を活用した体育授業を町内4小学校で実施した。子どもの関心を引き出し、運動のコツを捉えた指導により、達成感ある授業づくりに取り組んだ。 ・発達段階に応じた食育や家庭と連携した「早寝早起き朝ごはん」の取組により、子どもの健康づくりが進んでいる。 ・栄養教諭による食育指導56回、動画配信59回を行い、朝食の摂取率が向上するなど改善している。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・年度末に体力向上推進委員会が実施できなかったため、3月に校内体力向上委員会を開催し、自校の体力状況の分析と体力向上の計画を作成した。4月の多可町体育担当者会で、スポーツテスト実施に向けた強化種目や運動機会の確保について協議する。 ・子どもの体力向上のため、体力向上推進委員会により、児童生徒の体力状況の分析と取組の検証を行う。 ・県の「体力アップサポーター事業」の積極的な活用により、体育授業の充実を図るとともに教員を対象としたスキルアップ研修を実施する。 ・児童生徒の健やかな体を育成するために、発達段階に応じた食育や家庭と連携した「早寝早起き朝ごはん」の取組を継続する。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	C	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・体力づくりは非認知能力の育成にも関わることなので、体力向上推進委員会の充実と、その成果に基づく現場での実践につなげていただきたい。 ・特に中学生の体力向上について、何らかの方策を検討していただきたい。 ・朝食を毎日食べる児童生徒の割合が高まっている点は評価したい。引き続き、食育指導に取り組んでほしい。	

(3)教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

【 こども未来課 】

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	こども未来課				
事業名	児童館、子育てふれあいセンター事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			27,013 千円			27,835 千円			
根拠法令等	多可町児童館条例、多可町子育てふれあいセンター条例								
事業目的	利用する児童に健全な遊び場を与えて、健康を増進し、情操を豊かにすること。 家庭や地域の教育力を高め、心身ともに健全な子どもの育成を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 1	健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実						
		I - 2	学童保育・児童館事業等の充実						
		I - 3	子育て支援の充実						
		I - 4	安心して暮らせる地域・家庭づくりへの支援						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	児童館運営	児童館の開放、講座、 体験イベントの開催	利用者数(人) ※	3,463	3,500	3,929	A	2	4,000
2	夏の子ども体験学習 (児童館なつチャレ)	町内外の人やものを活用した様々な体験活動	開催回数(回)	7	9	9	A	2	9
			参加者数(人)	113	200	257			250
3	子育てふれあいセンター開放	自由利用	利用者数(人)	7,089	7,000	5,326	—	2	8,000
4	子育てふれあいセンター	学習会・講座・座談会、出前サロン等	参加者数(人) ※	6,528	6,000	5,418	B	2	7,000
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・児童館運営では、児童館教室において、Webでの申込み参加者が増加した。学童保育への出前講座、移動児童館を実施して事業を広げたことにより、児童館の利用者数の増加につなげることができた。 ・「夏の子ども体験学習(児童館なつチャレ)」では、コロナ前と同じ9回の体験プログラムを実施でき、保護者も参加可能なプログラムを加えたことから、参加者が増加した。 ・子育てふれあいセンターのリニューアル工事が完了し、センターの愛称が「ココミル」に決定した。 ・子育てふれあいセンターでは、平日の利用頻度が高い0～1歳児の親子を対象とした事業として、ヨガ体験ができる「リフレッシュ講座」や体験講座「0歳からの体幹づくり」などを開催し、延べ93人の参加があった。							
次年度の重点課題と具体的改善策		・児童館の利用促進を図るため、ココミルで移動児童館を定期的(月2回)に開催し、児童館の活動内容を広く周知する。 ・ココミル利用者数の増加を目指し、あすみる(生涯学習まちづくりプラザ)と連携した事業の検討・実施を通じて、子育て世帯、小中高生の利用促進を図る。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・子育てふれあいセンターの大幅なリニューアルに伴い、運営面の見直しを図ることで、より一層の活用を期待する。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	こども園等運営助成事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			596,807 千円			626,658 千円			
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、認定こども園法(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律)、多可町障害児保育事業補助金交付要綱								
事業目的	私立の認定こども園等の安定した運営と保育環境の維持改善及び障害児保育の実施と運営補助を行うこと。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 1	健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実						
	基本施策								
	具体的 施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	認定こども園等管理	入園希望児童の入園事務及び利用者負担額の算定	入園率(%)	100	100	100	A	2	100
			入園児童数(人)	421	370	402			340
2	施設型給付管理	認定こども園等への給付費の支払い	給付率(%)	100	100	100	A	2	100
			給付費(千円)	568,067	592,857	592,676			593,631
3	障害児保育	障害児保育実施に係る補助金額	補助金額(千円)	28,727	39,780	33,982	B	2	31,500
4	認定こども園保育フェア運営	保育士確保のため5園の合同説明会を開催	参加者数(人)	11	15	6	B	2	10
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・待機児童が発生することなく、入園希望に対して100%の入園率が達成できた。 ・認定こども園等の運営に係る給付費の支払い及び物価高騰対策の一時支援金等は遅滞なく適正に処理することができた。 ・障害児保育事業補助金の交付により、支援の必要な園児に職員を配置し、多様性に応じた保育を行った。							
次年度の重点課題と具体的改善策		・「認定こども園保育フェア」は、当日が悪天候であった影響もあり、高校生の参加がなく人数が減少した。参加者数の増加を図るとともに、こども園の職員採用の契機とし、高校生が将来の進路を考える機会となるよう、県内の大学等や近隣の高校に対して開催情報を周知する。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・入園希望の児童に対して100%の入園を実現していることは、大いに評価できる。 ・認定こども園保育フェアについては、日時、会場等、運営の工夫・改善を検討していただきたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	こども未来課				
事業名	学童保育事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			52,710 千円			50,332 千円			
根拠法令等	多可町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、多可町学童保育事業実施要綱								
事業目的	授業の終了後に、適切な遊び及び生活の場を通じて児童の健全育成を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 2	学童保育・児童館事業等の充実						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標・予定値 実績値		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	学童保育	放課後の預かり保育 (学童保育の受入体制)	利用者数 (月利用人数合計)	1,767	1,800	1,882	A	2	1,800
2			希望者受入率 (%) ※	100	100	100	A	2	100
3			満足度(%)	94	95	92	B	2	95
4			指導員数(人)	37	33	32	B	2	33
5			心理士巡回指 導回数(回)	5	5	5	A	2	5
6	学童保育支援員研修	兵庫県学童保育指導員 講座・学童保育講座	受講者(人)	30	33	32	B	2	33
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・心理士による巡回相談を実施し、特性のある児童や生活のサポートを必要とする児童について具体的な指導・助言を受けたことにより、支援員、補助員の適切な関わり方が学習でき、保育に活かすことができた。 ・全ての支援員、補助員を対象とした学童保育に当たっての基本研修を実施した。 ・毎月1回主任会を開催し、情報の共有と事例の検討により各クラブが同じ方向性で保育できるよう確認しながら実施できた。 ・加配職員の配置により、日本語支援が必要な外国人児童の受け入れができた。 ・長期休業期間のおやつの購入も民間業者の配達を利用して、支援員等の負担軽減を図った。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・特性のある児童に対して適切な関わりがもてるよう、心理士巡回相談や主任会での事例検討を継続し、保育の質の向上につなげていく。 ・主任、副主任、補助員の業務の統一化を図るために、業務内容を明確化して全職員に周知し、共通意識のもと保育に取り組む。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・利用希望者に対する100%の受入率は評価できる。 ・多様な児童が在籍しているので、重点課題やその解決にむけた具体的改善策の明確化に努めてもらいたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	こども未来課				
事業名	要保護児童対策事業		事業費 (決算額)	令和5年度		令和6年度			
				6,426 千円		4,763 千円			
根拠法令等	児童福祉法、多可町要保護児童対策地域協議会設置要綱、多可町要保護児童対策地域協議会運営規約、多可町子育て家庭ショートステイ事業実施要綱、多可町養育支援訪問事業実施要綱								
事業目的	一時保護やショートステイ、学校園や地域での見守り、医療機関への調整、サービス等の導入により、児童等を保護につなげること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 4	安心して暮らせる地域・家庭づくりへの支援						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	個別ケース検討会議 運営	要保護児童の状況の把握や問題点の確認など	開催回数(回)	13	10	13	A	2	10
2	子育て世帯訪問支援	支援が必要である家庭に対し、家事及び育児等の援助等	対応率(%)	100	100	100	A	2	100
			訪問回数	53	-	60			-
3	子育て家庭ショートステイ	児童福祉施設等において一定期間養育・保護	対応率(%)	-	100	-	B	2	100
			件数	0	-	0			-
4	支援者向けの研修	子ども家庭相談員・担当職員の専門性を高めるための研修への参加	参加回数(回)	14	8	17	A	2	10
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・支援の検討が必要な児童について適宜個別ケース検討会議を開催し、情報共有と問題点の確認を行い、支援策の検討を行った。 ・実務者会議(年4回)と児童虐待等個別相談会に児童虐待防止対策アドバイザーを招き、個々のケースに対応した適切な助言を得ることができた。 ・希望があった学校を訪問し、アドバイザーからの助言や意見交換、教職員や支援者向けの児童虐待研修を開催することで支援の充実につながった。 ・加東こども家庭センターや学校園等の関係機関と連携を密にし、緊急案件の一時保護、施設入所等への対応がスムーズに実施できた。 ・子育て世帯訪問支援事業において、家事・育児の支援が必要な家庭に利用を促すことができた。 ・子育てショートステイ事業に関しては、新規里親・ファミリーホームとも契約を結び、利用の幅を広げた。令和6年度は利用件数が0となっているが、他のサービスにより支援が行き届いている結果と捉えている。							
次年度の重点課題と具体的改善策		・7年度から多可町こどもサポートセンターが発足するため、児童福祉と母子保健、学校との連携をさらに強化し、0～18歳までの児童への切れ目のない支援を充実させる。 ・新規事業である親子関係形成支援事業においては、家庭での療育を支援するために、町内の子育て期の保護者に向けてペアレントトレーニングを実施する。 ・北播磨管内に里親支援センター「やまもも」が開設されたことに伴い、センターと連携して里親制度の啓発活動に取り組む。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・支援が必要な家庭への訪問がきめ細かく丁寧を実施されている。 ・令和7年度から発足する多可町こどもサポートセンターに期待したい。町民への周知・PRをいろいろな形でしてもらいたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	子ども・子育て支援事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			18,700 千円			20,548 千円			
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、認定こども園法(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律)、多可町子ども・子育て会議条例、多可町病児保育事業実施要綱、在宅等育児手当交付要綱、多可町ファミリー・サポート・センター事業実施要綱								
事業目的	「多可町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもたちにとってふさわしい幼児期の教育・保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的・一体的に推進していくこと。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 1	健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実						
		I - 3	子育て支援の充実						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標・予定値 実績値		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	子ども・子育て会議運営	子育て全般についての支援施策の検討	開催回数(回)	3	3	3	B	2	2
2	病児保育	病気または病気の回復期に至らない児童の預り	対応率(%)	100	100	100	A	2	100
			利用件数	96	-	136			-
3	在宅等育児手当	幼児を日中家庭等で子育てする保護者に対して、手当を支給	認定率(%)	100	100	100	A	2	100
			延人数(人)	69	-	71			-
4	主食費助成	主食費の一部を助成	認定率(%)	100	100	100	A	2	100
			延人数(人)	304	-	307			-
5	ファミリー・サポート・センターたか運営	子育てに関する地域相互援助活動の支援	会員数(人)	49	55	51	B	2	55
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・子ども・子育て会議を3回開催し、「第3期多可町子ども・子育て支援事業計画」を策定した。 ・「在宅等育児手当」は、昨年度から継続して広報・SNS等で積極的に発信したことに加え、窓口に来庁した保護者に対して、その都度案内するなどきめ細やかに対応したことにより、前年度から2人増加した。 ・ファミリー・サポート・センターたか運営事業では、まかせて会員(支援者)講習会を受講しやすくするために、ココミルの学習会や図書館の講座と組み合わせて実施した。 ・まかせて会員へのフォローアップを目的に、登録から5年目の方を対象として講習を実施(13人中5人が参加)した。							
次年度の重点課題と具体的改善策		・まかせて会員登録者数の増加を目指して、高齢者等が集まる機会を利用して、ファミサポ活動の説明・勧誘を行う。 ・おねがい会員(依頼者)の加入者増加を目指すため、お試しクーポンを発行してファミサポを体験してもらうことでサービスの周知を図る利用促進事業を実施する。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・病児保育や在宅等育児手当の100%支給など、きめ細やかな対応がなされている点を評価したい。 ・ファミリー・サポート・センターたか運営事業では、今後も工夫しながら「まかせて会員」の質の向上に努めてもらいたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	こども未来課				
事業名	社会教育推進事業		事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度		
				5,390 千円			5,221 千円		
根拠法令等	社会教育法								
事業目的	社会教育事業の推進により、子どもから大人における教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、地域における生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 2	豊かな心の育成						
		Ⅱ - 5	体験教育の推進						
	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進						
	具体的施策	Ⅲ - 3	文化の香るまちづくりの推進						
	基本施策	Ⅳ	豊かな人権文化の創造						
具体的施策	Ⅳ - 1	人権尊重のまちづくりの推進							
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	播州歌舞伎運営	播州歌舞伎の伝承と後継者育成	練習回数(回)	39	35	37	A	2	35
2	子ども向け講座・教室 (伝統文化親子教室)	子ども向け講座・教室の実施	講座回数(回)	44	48	44	B	2	44
3	放課後子ども広場	放課後子ども広場の実施	実施回数(回)	203	230	201	B	2	200
4	おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展	絵画の募集、展示を通じた敬老精神の醸成	都道府県出品率(%)	89	100	83	B	2	90
			出品作品数(点)	3,976	4,500	3,583	B	2	4,000
5	子ども芸能祭	芸能活動に取り組む子どもたちの発表	出演団体(団体)	6	6	5	B	2	5
6	土曜チャレンジ 出前ひろば	「家庭の日」応援企画 事業参加者数	参加者数(人) ※	354	300	311	A	2	300
前年度の課題を踏まえた主な取組とその成果		・播州歌舞伎クラブは、創設30周年記念公演を実行委員会形式で委員と共に企画・準備・運営を行い、来場者400人という多くの方に楽しんでもらうことができた。 ・伝統文化親子教室は、各小学校をまわりチラシ配布等のPR活動により、合計34人の受講者を集めて目標回数をほぼ達成することができた。 ・おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展は、作品募集時に昨年度の「都道府県別出品数」を同封したことで、前年度実績のない都道府県からの応募があった。また、作品返送時に全応募者や学校等関係者にweb展示案内を同封したことで、閲覧ユーザー数3,045人、閲覧回数41,499回と大幅な増加につなげることができた。							
次年度の重点課題と具体的改善策		・伝統文化親子教室の受講者数を増加させるため、子どもたちが伝統芸能・文化について興味・関心を持てるようチラシ等に工夫を凝らしたPR活動を行う。 ・おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展は、引き続き全都道府県からの応募を目指し、募集案内をする。また、展示会場への来場者数を増やすため、多可町ホームページやインスタグラム、チラシ等で周知を図る。 ・子ども芸能祭は、子ども向けの町内活動団体の減少等により出演団体数が減少傾向にある。昨年度の出演団体の継続と不参加団体の出演に向け、個別の案内を行う等募集方法を工夫する。 ・土曜チャレンジ、出前ひろばは、プログラムによって参加者の定員を超えるものや不足するものがある。過去のデータやアンケート結果も考慮して、参加者が求めるプログラムを多く開催する。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	B	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・「播州歌舞伎」の運営と「おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展」は、多可町独自の活発な取り組みとして高く評価する。 ・今後の展示の在り方について、検討の余地がある。また、事業の成果指標についても検討が必要である。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	幼児教育・保育事業	事業費 (決算額)	令和5年度			令和6年度			
			370 千円			390 千円			
根拠法令等	子ども・子育て支援法、認定こども園法(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、多可町教育・保育共通カリキュラム								
事業目的	保育の充実及び幼児教育の質の向上を図るとともに、幼児教育と小学校教育の接続を円滑にすること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 1	健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実						
	基本施策								
	具体的 施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	幼児教育研修	認定こども園の幼児 教育研修	研修回数(回)	10	10	10	B	2	10
2	教育・保育共通カリ キュラム検証	0～5歳児の共通カリ キュラムの検証	開催回数(回)	5	5	5	B	2	5
3	5歳児交流会	町内の5歳児の交流 会	開催回数(回)	2	2	2	B	2	2
4	幼小合同研修	保育・授業の公開や 合同研修	開催回数(回) ※	6	7	12	A	2	10
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・「教育・保育共通カリキュラム」検証においては、教育委員会が園訪問時に各園の保育の状況を観察するとともに意見交換を行い、教育・保育の充実に繋げることができた。 ・5歳児交流会は、全園児が交流する時間と就学する学校ごとに交流する時間を設けたことで、多くの園児との交流ができ、就学への意識をもつ機会にもなった。 ・幼小合同研修については、「幼小架け橋プログラム」の策定に向けた研修を実施しながら、小学校・園ごとにプログラムを策定することができ、幼小連携の重要性の理解につながった。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・幼小合同研修では、引き続き相互参観、意見交換会等を計画的に実施することで幼小の円滑な接続を図る。 ・有識者を交えて「幼小架け橋プログラム」の実施結果の検証と必要に応じた改善を行い、現場で有効活用されるようにする。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	B	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・5歳児交流会の実施内容の工夫をさらに進めてもらいたい。 ・合同研修のさらなる充実に努め、教育・保育の質の向上に繋げていただきたい。	

(3)教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

【生涯学習課】

(隣保館)

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	生涯学習課				
事業名	生涯学習事業	事業費 (決算額)	令和5年度		令和6年度				
			4,629 千円		4,949 千円				
根拠法令等	社会教育法								
事業目的	生涯学習を通してあらゆる世代が互いに学び合い、教え合い、人がつながるまちづくりをすること。 学んだ知識・技術・経験等を地域に循環できる人材育成の仕組みを構築すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進						
	具体的 施策	Ⅲ - 1	生涯学習の充実						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	多可学園(高齢者大学) 運営	一般教養講座・各クラブ活動の実施	参加申込者数(人)	175	190	195	A	2	220
2	生涯学習講座運営	生涯学習講座の実施	参加申込者数(人)	265	260	181	C	2	220
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・多可学園(高齢者大学)運営委員会で協議し、魅力的な一般教養講座の実施に努めた。また、学園生アンケート結果を反映して、新規にパソコン、社交ダンス、アロマ体験クラブを追加するなど、内容の充実を図ったことで、参加者増につながった。 ・多可学園では、講座の充実を図ったことにより、皆勤賞(全日程参加)と精勤賞(1回欠席)は合わせて68人で、昨年度より15人増加し、意欲的に学ぼうとする人が増えている。クラブ活動の中でも特にガーデニングクラブでは、あすみる花壇のデザイン、植栽を行い、学んだことを地域活動に活かし、学びの集大成とした。 ・生涯学習講座では、講座生による自主運営のサークル化を進め、生花、書道、コーラスがサークル化できたことに加え、住民ニーズに沿った新たな生涯学習講座開設に向けて取り組んだ。							
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・多可学園では参加者が増え、事業が活性化しているので、更に魅力的な内容となるよう、運営委員会を中心に事業運営を進める。 ・生涯学習講座は、講座生拡大のためニーズ把握に努め、特に若い世代に向けた講座開設に取り組む。 ・学び、交流の拠点として、令和7年4月に多可町生涯学習プラザ(あすみる)がオープンする。更に多くの方に活用していただけるようにSNS等利用し、魅力ある事業運営に努める。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	B	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・多可学園、生涯学習講座いずれも業務の量的拡大が見込まれる中、満足度をはじめとする質的な側面での把握にも努めていただきたい。	

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

				担当課	生涯学習課					
事業名	人権教育推進事業	事業費 (決算額)	令和5年度		令和6年度					
			9,506 千円		10,310 千円					
根拠法令等	部落差別の解消の推進に関する法律、障害を理由とする差別の解消に関する法律、多可町隣保館条例、多可町人権啓発専門員設置条例、多可町部落差別の解消の推進に関する条例									
事業目的	部落差別をはじめ、女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人・LGBT、インターネットやSNSによる誹謗中傷などあらゆる人権問題における差別や偏見をなくすこと。									
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	IV	豊かな人権文化の創造							
	具体的 施策	IV - 1	人権尊重のまちづくりの推進							
事業を構成する業務		具体的活動内容		活動指標(単位) ※印は教育ビジョン指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標・予定値 実績値		自己 評価	今後の 方向	令和7年度 目標・予定値
1	人権学習会運営	住民学習会、町民の集い 人権啓発推進委員研修 会、各種講座の開催	住民学習会実施 集落数(集落)	62	62	62	A	2	62	
			人権学習会等への 参加者数(人) ※	2,577	3,000	2,863	B	2	3,000	
			理解度(%) (関心や理解が大変深まった・ 概ね深まった参加者の割合)	88.0	85.0	92.0	A	2	90.0	
前年度の課題を 踏まえた主な 取組とその成果		・住民学習会を町内全62集落で実施し、様々な人権課題について理解が深まった。 《学習テーマ別実施状況》 暮らしの中の人権(人権全般) 34集落、性の多様性に関する問題 1集落、 高齢者に関する問題 4集落、同和問題 23集落 ・総会および2回の多可町民の集い(8月、12月)において、ネット社会における部落差別の問題、 性の多様性に関する問題、インターネット上における差別投稿と同和問題を取り上げたことにより、 人権課題に対する参加者の関心や理解を深めることができた。 ・町民が人権課題に触れる機会として、人権に関する映画の上映会を開催した。								
次年度の 重点課題と 具体的改善策		・差別や偏見をなくし、一人一人がお互いの違いを認め合い、尊重し合うことができる思いやりにあ ふれた人権尊重のまちづくりに向けて、人権に関する学びの機会として幅広い世代、住民を対象と する研修会を引き続き開催する。 ・複雑かつ多様化する人権課題に対応できるように具体的な内容を対象者や目的に合わせて設定 し、単に知識を伝えるだけでなく、研修の感動や気づきを定着させ、行動変容に繋げる「ふりかえり シート」を活用するなど、研修内容のより一層の充実を図る。								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	A	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・全集落で住民学習会を実施したことは評価できる。さらに、ベルディーホールなどで行われる人権 学習会においても、全世代の参加が期待できるようなテーマ・内容で取り組んでもらいたい。 ・地道な活動ではあるが、必要な事業として継続的に取り組んでいただきたい。	

令和6年度 多可町の教育の点検及び評価

発行者 多可町教育委員会

〒679-1192 兵庫県多可郡多可町中区中村町123番地

Tel 0795-32-2380 Fax 0795-32-4318

教育総務課	Tel 0795-32-2384	E-mail kyoikusomu@town.taka.lg.jp
学校教育課	Tel 0795-32-2395	E-mail kyoiku@town.taka.lg.jp
こども未来課	Tel 0795-32-2385	E-mail kodomo@town.taka.lg.jp
生涯学習課	Tel 0795-32-5122	E-mail newlife@town.taka.lg.jp